

## 令和8年度事業計画書

□変更点:会則の変更にともない、新しい目的に準じて1と2が博物館との関係性の事業、3と4が会員関係の事業、5が地域との関係性の事業に組み替えました。

### 1. 博物館が開催する展覧会・講座・イベントへの協力および参加

・市立函館博物館で開催の企画展等の後援および見学会の実施

→企画展「いざ、お話の世界へ！梁川剛一没後40年展」の見学会（7月19日予定）

・ミュージアムグッズの依頼

→昨年度、未来大と博物館とのコラボでミュージアムグッズの試作品が提案されました。

その商品化への要請に対する支援

### 2. 博物館の資料収集や調査活動の支援

・「市民の声をアーカイブに」をコンセプトにした聞き取り調査の検討

・特別史跡・五稜郭跡の文化価値を市民利用の実態を新聞記事などからの調査の検討

→博物館紀要への投稿なども博物館支援につながる

### 3. 会員相互の親睦のための見学会や例会の開催

・函館市内はじめ道南の博物館見学会を検討する⇔ご希望をお願いします

・学習会（ミュージアムサロン）の実施→茶店などでの懇親会の実施

・スローガン「博物館で“共感”するとは何なのか」考えてみましょう⇔会員のご意見を  
お願いいたします

### 4. 会報などの情報提供

・友の会会報74号（3月下旬）の発行

→情報はホームページ上で閲覧できるのでペーパーレス化の検討⇔会員のご意見を  
お願いいたします

・ガイドブック『函館の文化財』などの刊行物の頒布→学生の郷土史サークルなどへの無  
償配布の検討

・ホームページからの情報発信⇔会員の情報提供をお願いします

### 5. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

・「博物館構想」のテーマに沿ったフォーラムの開催について検討する

・「函館アカデミア」を通じての他の市民団体との協働・支援

・五稜郭の雑木の伐採のボランティア活動

・創立60周年記念事業にむけての準備